

## くろめチャレンジ CBT プログラム実施業務公募型プロポーザルの実施に関する質問及び回答について

○質問内容の文言については編集を行っています。

番号	質問内容	回 答
1	<p>仕様書4ページ『2(4)⑤ 教科に関する実施問題の作成』についての質問</p> <p>国語の学習指導要領で、読むこと(引用文を使った問題)は、思考力・判断力・表現力等に分類されます。観点としての知識・技能と思考力・判断力・表現力等を8:2の割合で作成すると、引用文を使った問題を2割で作成することになります。観点ではなく、基礎的・基本的な問題を8割、思考・判断・表現力等を必要とする活用の問題を2割とすると考えていいですか。</p>	<p>ご指摘の通り、国語の問題にしましては、基礎的・基本的な問題が8割、思考力・判断力・表現力等を必要とする応用・活用問題が2割を目安に問題作成をお願いしたいと考えています。</p>
2	<p>仕様書1ページ『1(3)①「チャレンジテスト」「やり直しテスト」は、ともに当該学期の学習内容全範囲を出題範囲とする』に関して、出題範囲と実施時期の関係についての質問</p> <p>「ともに当該学期の学習内容全範囲を出題範囲」となると、次のように、当該学期の次の学期が実施時期となります。</p> <p>1学期全範囲→2学期実施 2学期全範囲→3学期実施 3学期全範囲→次学年1学期実施</p> <p>その上で、「※第3学年は3学期のみ、第6学年は1学期と2学期のみ実施対象」とあるので、以下の考え方でいいですか。</p> <p>第3学年：3学期全範囲→第4学年1学期実施。</p> <p>第4学年：1学期全範囲→2学期実施。2学期全範囲→3学期実施。3学期全範囲→第5学年1学期実施。</p> <p>第5学年：1学期全範囲→2学期実施。2学期全範囲→3学期実施。3学期全範囲→第6学年1学期実施。</p> <p>第6学年：1学期全範囲→2学期実施。2学期全範囲→3学期実施。3学期全範囲はなし。</p>	<p>(2) 事業目的に「当該学期に学習した内容の定着状況を早期且つ的確に把握する」と記しているとおりに、例えば「第3学年3学期に学習した内容について、第3学年3学期末に出題する」こととなります。特に算数については、未履修がないように、学校が本プログラムを実施する日までには、当該学期の出題範囲の履修を終えることとします。</p>

番号	質問内容	回答
3	<p>仕様書2ページ『2(2)⑤「処理能力：市内の児童の全員（3学年：約7800人）の同時使用に足る情報処理能力をもつこと」に関する質問</p> <p>「市内の児童の全員（3学年：約7800人）の同時使用に足る情報処理能力をもつ」とは、同日同時間の実施ということですか。それとも、他自治体と同様に、日時を分散した上で、実施を可能にする情報処理能力を用意するということですか。</p> <p>また、今回小学校対象者は、第3～6学年児童（4学年：合計約11,116人）ではないですか。</p>	<p>実施日、実施学年、実施時間については、各学校の都合に合わせて、学校毎に設定します。全ての学校・学年が同日同時間を希望する可能性もありますので、そのような仕様になっています。</p> <p>対象者については、1・2学期は第4～6学年の全児童、3学期は第3学年が実施します。3学期は第6学年が実施しませんので、どの学期も3学年分の児童数になるという設定です。</p>
4	<p>仕様書3ページ『2(2)⑥ CBT 機能：キ テストは教師が「公開」（時間設定もしくは公開ボタンを押す等）で、児童が解答できるようになること。また、テストの終了や答案返却についても、教師の意図が反映できるよう工夫すること』に関する質問</p> <p>調査の実施日や結果の公開日については、期間内は常時利用可能とした上で各学校に委ねるという認識でいいですか。</p>	<p>そのような認識です。実施日、実施学年、実施時間は、質問1で回答した想定時期に各学校が設定します。その期間までに、テストの公開、終了、自動採点、答案返却等が利用可能になるように準備をしていたと考えています。</p>
5	<p>仕様書3ページ『2(2)⑧ 児童用アカウント管理：イ 登録：各学校で必要項目を入力できるExcel形式等のフォーマットが提供され、そのフォーマットを使って簡単に登録できること』に関する質問</p> <p>児童の登録については、提供された一括した情報を業者が設定するのではなく、学校ごとに行う想定ですか。</p>	<p>ご指摘のとおり、児童の登録については、各学校で設定を行うことを想定しています。各学校が容易に登録を行えるような提案をいただきたいと考えています。</p>
6	<p>仕様書4ページ『2(4)教科に関する実施問題の作成 ⑦やり直しテストは1回以上実施できること』に関する質問</p> <p>同じ問題を何度も解けるという認識でいいですか。また、複数回受検した場合、毎回の履歴を閲覧できる必要がありますか。</p>	<p>2(4)⑥に記しているとおり、「国語はチャレンジテストと同じ問題を再利用」「算数はチャレンジテストの数値に変更を加えた問題を1回以上用意」し、2(2)⑦エに記している通り「1年度分のチャレンジテスト、やり直しテストの学習履歴が閲覧でき、8割合格の達成状況を視覚的に確認できるように工夫する」という仕様になっています。</p>

番号	質問内容	回 答
7	<p>仕様書 4 ページ『2 (4) 教科に関する実施問題の作成 ⑪ チャレンジテスト、やり直しテストは、プリントアウト用としてテストデータをPDFにて各学校及び教育委員会に提供すること。』に関する質問</p> <p>CBT で実施した問題と同じ内容ですか。出力用に別途、解答欄や解答用紙、解答解説を用意する必要はありますか。また、採点は学校が行う想定ですか。</p>	<p>プリントアウト用のテストデータ PDF 版は、CBT で実施したチャレンジテスト、やり直しテストと同じ内容です。模範解答も合わせてご準備ください。採点は、学校が行います。</p>